

やさしいタグラグビーゲームを

楽しむための略式指導案

単元名「タグラグビー」

1 / 5 の学習

1 学習のねらい

- (1) 基本的なきまりを大切にし、タグラグビーの楽しさと興味・関心を高めることができる。
- (2) チームの中の一人としての自覚を持ち、タグラグビーを楽しむことができる。
- (3) 安全に気を付けて、お互いに励まし合いながら楽しく学習することができる。

2 本時の流れ

過程	主な学習活動	教師との関わり 評価
導入	<p>1 体ほぐしの運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タグや楕円球を使った体ほぐしをする。 ・ ボールタッチゲームをする。 <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>やさしいタグラグビーゲームを楽しもう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の進め方を確認する。 ・ 各自のめあてを決め、楽しくなる工夫を考える。 	<p>手首・膝・足首などの関節を動かす運動をしっかりさせる。</p> <p>ボールの持ち方とパスの仕方を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両手で持つ。 ・ 渡す相手に胸を向け、指先をしたにして設楽かやさしく相手の胸にパスをする。 ・ 必ず、顔(相手の目)を見てからパスをする。めあてを確認することで、本時の活動への意欲を高めさせる。 <p>ルールやマナーについてもふれ、お互いが協力し合って楽しく運動できるようにさせる。</p>
展開	<p>3 中学年でしたやさしいタグラグビーゲームをする。</p> <p>4 みんなで楽しくなるためのルールを確認しながら、練習試合を楽しむ。</p> <p>5 もっと楽しくできる新しいタグラグビーのルールを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スペースを考える。 ・ パスを考える。 ・ タグの回数で攻守交代をする。 	<p>積極的にチームの話し合いに関わりながら、アドバイスをする。</p> <p>お互いの良さを認め合い、声をかけ合って楽しく話し合いや練習をさせる。</p> <p>試合にでない子どもには審判や点数付けをさせたり、見てる全員にタグの回数を言わせたりする。</p> <p>ボールを継続していく重要性を考えさせる。</p> <p>個やチームの良さを誉めたり、あまり動かない子どもへは、積極的に声をかける。</p> <p>もっと楽しくなりたい気持ちを持たせる。</p> <p>タグをとった回数で攻守交代をするよさを考えさせる。</p>
終末	<p>6 学習のまとめと評価をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 整理運動をする。 (2) 評価カードに記入する。 	<p>個のレベルを高めることも大切だが、チームの組織的な動きを高めることも大切であることを感じ取らせる。</p> <p>自己評価カードを活用し、子どもの変容を把握する。</p> <p>個の良さとチームの良さを賞賛する。</p>

タグラグビーの試合 を楽しむための略式指導案

単元名「タグラグビー」

2 / 5 の学習

1 学習のねらい

- (1) 基本的なルールを大切にし、タグラグビーの楽しさと興味・関心を高めることができる。
- (2) チームの中の一人としての自覚を持ち、タグラグビーを楽しむことができる。
- (3) 安全に気を付けて、お互いに励まし合いながら楽しく学習することができる。

2 本時の流れ

過程	主な学習活動	教師との関わり 評価
導入	<ol style="list-style-type: none"> 1 体ほぐしの運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・タグや楕円球を使った体ほぐしをする。 ・ボールタッチゲームをする。 2 学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> チームワークを大切にし、新しいルールを生かして、試しのタグラグビーを楽しもう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方を確認する。 ・各自のめあてを決め、楽しくなる工夫を考える。 	<p>手首・膝・足首などの関節を動かす運動をしっかりさせる。</p> <p>ボールの持ち方とパスの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両手で持つ。 ・渡す相手に胸を向け、指先をしたにして設楽かやさしく相手の胸にパスをする。 ・必ず、顔(相手の目)を見てからパスをする。めあてを確認することで、本時の活動への意欲を高めさせる。 <p>ルールやマナーについてもふれ、お互いが協力し合って楽しく運動できるようにさせる。</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> 3 新しいルールをみんなで確認し、チームの作戦を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・各チームでタグを取られても継続して攻撃するための練習をする。 ・タグを取られる前のパスの重要性を考える。 ・タグ3回で攻守交代をする。 4 新しいルールでの練習試合をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・試合時間や試合相手を決める。 5 ゲームを反省し、ルールを工夫して、次回の作戦を考える。 	<p>楽しく試合ができるようにする。</p> <p>ボールの持ち方とパスの渡し方の重要性を再確認させる。</p> <p>継続するためのパスを考えさせる。</p> <p>タグをとられる前のパスでスペースができることを考えさせる。</p> <p>対戦相手の応じた作戦を考えさせる。</p> <p>作戦タイムの時間を設け、全員が協力し合ってチームワークで勝てる工夫をさせる。</p> <p>タグをとられる前と取られた後の継続プレーについても一度考えさせる。</p> <p>試合をしない子どもに審判や記録をさせる。</p>
終末	<ol style="list-style-type: none"> 6 学習のまとめと評価をする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 整理運動をする。 (2) 評価カードに記入する。 	<p>個のレベルを高めることも大切だが、チームの組織的な動きを高めることも大切であることを感じ取らせる。</p> <p>自己評価カードを活用し、子どもの変容を把握する。</p> <p>個の良さとチームの良さを賞賛する。</p>

ラグビーの試合を楽しむための略式指導案

単元名「ラグビー」

3 / 5の学習

1 学習のねらい

- (1) 基本的なルールを大切に、ラグビーの楽しさと興味・関心を高めることができる。
- (2) チームの中の一人としての自覚を持ち、ラグビーを楽しむことができる。
- (3) 安全に気を付けて、お互いに励まし合いながら楽しく学習することができる。

2 本時の流れ

過程	主な学習活動	教師との関わり 評価
導入	<p>1 体ほぐしの運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タグや楕円球を使った体ほぐしをする。 ・ ボールタッチゲームをする。 <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 新しいルールを生かして、ラグビーを楽しもう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の進め方を確認する。 ・ 各自のめあてを決め、楽しくなる工夫を考える。 	<p>手首・膝・足首などの関節を動かす運動をしっかりさせる。</p> <p>ボールの持ち方とパスの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両手で持つ。 ・ 渡す相手に胸を向け、指先をしたにして設楽かやさしく相手の胸にパスをする。 ・ 必ず、顔(相手の目)を見てからパスをする。めあてを確認することで、本時の活動への意欲を高めさせる。 <p>ルールやマナーについてもふれ、お互いが協力し合って楽しく運動できるようにさせる。</p>
展開	<p>3 試合のルールをみんなで確認し、チームの作戦を考え、ラグビー大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タグ3回での攻守交代 ・ タグの受け渡し ・ ブロック制にする。 <p>4 ゲームをふり返り、工夫・改善することを出し合って、次回の作戦を考える。</p>	<p>楽しく試合ができるようにする。</p> <p>対戦相手の応じた作戦を考えさせる。</p> <p>作戦タイムの時間を設け、全員が協力し合ってチームワークで勝てる工夫をさせる。</p> <p>タグを取られた前と後の継続プレーについて考えさせる。</p> <p>学級内でのチャンピオンは決定しない</p> <p>試合をしない子どもに審判や記録をさせる。</p>
終末	<p>5 学習のまとめと評価をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 整理運動をする。 (2) 評価カードに記入する。 	<p>個のレベルを高めることも大切だが、チームの組織的な動きを高めることも大切であることを感じ取らせる。</p> <p>自己評価カードを活用し、子どもの変容を把握する。</p> <p>個の良さとチームの良さを賞賛する。</p>

ラグビーの試合 を楽しむための略式指導案

単元名「ラグ・ラグビー」

4 / 5 の学習

1 学習のねらい

- (1) いろいろなチームと試合をしながら、ラグビーの楽しさを味わう。
- (2) チームのめあてを決め、全員が楽しめるように協力しながらゲームを楽しむことができる。
- (3) 安全に気を付けて、お互いに励まし合いながら楽しく学習することができる。

2 本時の流れ

過程	主な学習活動	教師との関わり 評価
導入	1 体ほぐしの運動をする。 ・ タグや楕円球を使った体ほぐしをする。 ・ ボールタッチゲームをする。	手首・膝・足首などの関節を動かす運動をしっかりさせる。 ボールの持ち方とパスの仕方 ・ 両手で持つ。 ・ 渡す相手に胸を向け、指先をしたにして設楽かやさしく相手の胸にパスをする。
	2 学習のめあてを確認する。 ラグ・ラグビーの大会を開き、いろいろなチームとの試合を楽しもう。 ・ 学習の進め方を確認する。 ・ 各自のめあてを決め、楽しくなる工夫を考える。	・ 必ず、顔(相手の目)を見てからパスをする。めあてを確認することで、本時の活動への意欲を高めさせる。 ルールやマナーについてもふれ、お互いが協力し合って楽しく運動できるようにさせる。
	3 試合のルールをみんなで確認し、チームの作戦を考えて、ブロックごとにチームをわけ、リーグ戦をする。	楽しく試合ができるようにする。 対戦相手の応じた作戦を考えさせる。 作戦タイムの時間を設け、全員が協力し合ってチームワークで勝てる工夫をさせる。
	4 作戦タイムの時間をとる。 ・ チームワークで勝てたり、しっかり守れたりする方法を考える。 ・ チームみんなが楽しくできる方法を考える。	ゲームの仕方、作戦、ルールなどに目を向け、工夫改善していけるようにする。 ゲームを繰り返していくことで「おもしろかった。」「またやりたい。」という気持ち、関心や興味、意欲を高める。 試合を振り返り、良さを認め合い、すばらしいプレーを賞賛する。
	5 今日の試合をふり返り、他のチームからアドバイスをもらい、自分やチームの良かった点、工夫する点を話し合い、次回の試合にそなえる。	チームや個の能力を考えて、リーダーを育てる手立てをする。
	6 学習のまとめと評価をする。 (1) 整理運動をする。 (2) 評価カードに記入する。	個のレベルを高めることも大切だが、チームの組織的な動きを高めることも大切であることを感じ取らせる。 自己評価カードを活用し、子どもの変容を把握する。 個の良さやチームの良さを賞賛する。

ラグビーの試合 を楽しむための略式指導案

単元名「ラグ・ラグビー」

5 / 5 の学習

1 学習のねらい

- (1) いろいろなチームと試合をしたり，お互いの試合を見てラグビーの楽しさを味わう。
- (2) チームのめあてを決め，全員が楽しめるように協力しながらゲームを楽しむことができる。
- (3) 安全に気を付けて，お互いに励まし合いながら楽しく学習することができる。

2 本時の流れ

過程	主な学習活動	教師との関わり	評価
導入	1 体ほぐしの運動をする。 ・ タグや楕円球を使った体ほぐしをする。 ・ ボールタッチゲームをする。	手首・膝・足首などの関節を動かす運動をしっかりさせる。 ボールの持ち方とパスの仕方 ・ 両手で持つ。 ・ 渡す相手に胸を向け，指先をしたにして設楽	かやさしく相手の胸にパスをする。
	2 学習のめあてを確認する。 ラグビーの大会を開き，いろいろなチームとの試合を楽しもう。 ・ 学習の進め方を確認する。 ・ 各自のめあてを決め，楽しくなる工夫を考える。	・ 必ず，顔（相手の目）を見てからパスをする。 めあてを確認することで，本時の活動への意欲を高めさせる。 ルールやマナーについてもふれ，お互いが協力し合って楽しく運動できるようにさせる。	
	3 試合のルールをみんなで確認し，チームの作戦を考える。	楽しく試合ができるようにする。 対戦相手の応じた作戦を考えさせる。	
	4 ブロック制のリーグ戦をする。	作戦タイムの時間を設け，全員が協力し合ってチームワークで勝てる工夫をさせる。	
	5 作戦タイムを設ける。 ・ 他からアドバイスをもらう。 ・ 自分やチームの良かった点，工夫する点，楽しかった点を話し合ったりして次の試合をする。	試合を振り返り，良さを認め合い，すばらしいプレーを賞賛する。 チームや個の能力を考えて，リーダーを育てる手立てをする。	
	6 学習のまとめと評価をする。 (1) 整理運動をする。 (2) 評価カードに記入する。 (3) ラグビーに身に付けたことが他でいかせないかと考える。	個のレベルを高めることも大切だが，チームの組織的な動きを高めることも大切であることを感じ取らせる。 自己評価カードを活用し，子どもの変容を把握する。 個の良さとチームの良さを賞賛する。 単元で学んだことをいかせる場を考えさせる。	